

思い出詰まった学びやから 卒業生574人が歩み出す

八幡平市立として初めての卒業証書授与式を挙げる



中学校3年間の思い出を紙につづり発表する卒業生(田山中)

八幡平市立として初めての卒業式は3月11、14、17、18日、市内小・中学校でそれぞれ行われました。今年の市内卒業生は、小学校12校で276人、中学校5校で298人です。安代地区の田山中学校では3月14日に挙行。卒業生を代表して安部好智子さんが「田山の思い出を胸に、それぞれの道へと進みます」と答辞を述べました。この後、生徒が主催する第2部も行われ、卒業生は3年間の思い出を紙に書いて発表。卒業生と在校生が心を一つにして全校合唱し、

同校の伝統を引き継ぎました。松尾地区の寄木小学校では3月17日に行われ、河野隆子校長が「自分の力と友達の手を信じ、みんなで励まし合いながら、中学校でも活躍してください」と激励。卒業生から卒業記念品としてソーラン節で羽織る手作りの「長はんとと鉢巻き」が贈られました。西根地区の東大更小学校では3月18日に行われました。式のクライマックスは卒業生と在校生の「再出のことば」。卒業生は6年間の思い出を振り返り、感謝と喜びの気持ちを伝えました。これを受けて在校生は、卒業生一人一人が活躍した場面を発表し、「よりよい学校になるよう、力を合わせて頑張ります」と誓いました。



三浦昭子校長が卒業生一人一人に声を掛けながら卒業証書を手渡しました(東大更小)



卒業生は、受け取った卒業証書を成長の証しとして、父母に感謝を込めながら手渡しました(寄木小)

地元球団盛り上げ 応援は満塁弾級に

「地元球団の誕生に胸が躍り、居ても立ってもいらなかった」と設立当初を振り返った。昨年、仲間10人と東北楽天ゴールデンイーグルス(以下、楽天)の岩手応援団を結成し、代表に就任した。「球団公認の応援団は仙台以外では初。今は120人の仲間がいる」と誇らしげだ。会員は小学生から80代まで県内幅広く登録。地元と野球を愛する人ばかりだ。「毎月1回、楽天応援ツアーを開催し、声を枯らすことが楽しみ」と笑った。「昨年は1年目、成績は気にしない。今年は若手の成長が著しい」と期待は膨らむばかり。盛岡中央高から入団した宇部銀次捕手(登録名・銀次)については「打撃センスが良い。リード面で野村野球を学び、大きく育ってほしい」と声が弾む。「将来、球団の野球教室でプロの指導を受けた子どもたちから、楽天に入団する選手が出てほしい。協力は惜しまない」と彼の夢は限りなく広がる。

※アイアンイーグル入会の問い合わせは、小野寺(☎019-645-3388)まで。

小野寺 均さん

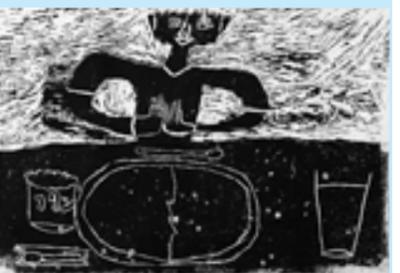
●おのでもひとし 松野小、松尾中、生活学園高(現盛岡大学附属高)と野球一筋。同高硬式野球部OB会会長を務める。昨年、東北楽天岩手応援団アイアンイーグル代表に就任。同球団を応援する「熱血ゴールデンスタジアム」に出演中(FM岩手、毎週木曜日午後7時〜)。中華料理を専門にホテルなどで勤務。安価で本格的な中華を味わってほしいと平成15年に盛岡市厨川にチャイナ・スタジアム・オノデラを開店する。モットーは一鍋入魂。日本中国料理協会岩手県青年部顧問。趣味は鯛釣り。40歳。両親と3人暮らし。血液型A型。野沢地区。
※銀次のテーマ曲など3曲を収録した、球団公認の楽天応援CDが4月18日に発売されます。

みんなの作品

～安代小～



4年 伊藤 聖永くん



「夏休みの昼ご飯」



2年 小原菜奈未さん



「おしゃれ好きナリス」



6年 村松 愛梨さん



「ゴマアザラシ(クッション)」

※学年は3月現在のものです。

広報クイズ No.7 4月6日号の問題

市の平成18年度 一般会計当初予算額は何億円?

正解者の中から抽選で3人の方に500円分の図書カードをお贈りしますので、どしどしご応募ください。
◎応募方法 はがき、ファクス、メール(パソコン、携帯電話)に「答え、住所、氏名、年齢、行政区」を書いて応募してください。また、答えのほかに、広報の感想や意見などを書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。
◎応募期限 4月21日(金) 消印有効
◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」
☆はがき 〒028-7192(住所不要) ☆ファクス ☎75-0469
☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp
*メールのタイトルに必ず「広報クイズ」と入力してください。
◎第6回の正解 「紫薫枕」 ◎応募者数 15人 ◎正解者数 15人
◎当選者 高橋綾香さん(大更)、盛内セツさん(平館)、高橋スミさん(松尾寄木)